

秦野市手をつなぐ育成会会報

平成28年
第316号

— 8月号 —



広報推進委員会
発行責任者：相原和枝
(連絡先：84-2241)

【目次】

* 平成28年度7月定例理事会報告	1
* 神奈川県立津久井やまゆり園での事件について(声明文)	2
* 第3回全国手をつなぐ育成会連合会『全国大会神奈川大会』報告	3~5
* 防災勉強会の報告	6
* そうめん販売のお礼・ま木だより	7
* 各委員会報告	8~11
* 各支部報告・編集後記	12~13

【行事予定】

- | | |
|-----------|--|
| *8月6日(土) | ◆ 8月定例理事会(第4会議室) 10:00~12:00 |
| *8月20日(土) | ◆ 第36回『ぶどう狩り』(横溝ぶどう園) 10:00~14:00 |
| *8月28日(日) | ◆ 秦野市手をつなぐ育成会『安否確認』 |
| *9月3日(土) | ◆ 9月定例理事会(第3会議室) 10:00~12:00 |
| *9月10日(土) | ◆ バスレク『SLパレオエクスプレス・花園フォレスト』(埼玉県) |
| *9月18日(日) | ◆ たけのこ学級『野外活動』(表丹沢野外活動センター) 11:00~14:30
(市役所) 10:30(現地) 11:00 |
| *9月27日(火) | ◆ 応急手当講習会 |

平成 28 年 7 月 度 定 例 理 事 会 報 告

7月2日(土)10:00～12:00 保健福祉センター第4会議室 [出席 22名]

会長の挨拶	◇今年の夏は暑くなり、体調を崩される方もいるので水分を補給して、健康に注意して活動していきましょう。(相原)
会報について	【7月号会報の説明】 ☆各行事の別刷りのプリントが3枚ありますのでご確認ください。(小山) 【委員会報告】 *広報:印刷のお手伝いありがとうございます。次回8/4(木)は夏休みの為人数が少ないので、またご協力をお願い致します。(小山) *地域生活:高齢化実態調査部会のメンバー10名で話し合いを持ちました。(猪俣) *災害:講習会を9月に行います。(藤原) *幼児児童:7/28(木)サマースクールに36名で行きます。(石川) *こうぼう山の会支援:7/16(土)歌の練習は新曲を練習します。 7/31(日)のサマーキャンプは、どなたでも参加できます。(大森) *事務局:グランドゴルフの決算報告⇒理事により承認されました。来年も行う予定です。 ヴィラ島津は退去しました。新しい場所は、はま寿司の近くです。 詳細はプリントでお知らせします。8月から借りられます。(山口) 【支部報告】 *東:7/13(水)施設見学に行きます。(北島) 北:7/21(木)支部会を行います。(石川) 本町:今年のふれあい祭りは10/10(月)祝未広小です。(宮原) *西・南・大根鶴巻支部⇒会報記載の通りです。
バスレクについて	◇募集のお知らせを配布しました。9/10(土)SLパレオエクスプレスに1時間乗ります。 ◇7/25(月)までに支部長に申し込んで下さい。支部長はまとも次第相原まで FAX でお知らせください。本人と付き添いで参加して下さい。家族も参加可です。(相原)
市長表彰者について	◇自立更生…栗原加代子(北) 関野芳行(本町) 援護功勞…野間玉江(大根鶴巻) 宮城三恵子(大根鶴巻) 介護功勞…大津絹代(西) 吉原フミ子(東) ⇒理事会により承認 (山口)
社協会長表彰について	◇鈴木明子(大根鶴巻) ⇒理事会により承認 (山口)
防災勉強会について	◇7/7(木)10:00～第4会議室 6～8名のグループで実際に災害にあった時どうするか、話し合いをします。当日参加も OK です。(藤原)
育成会安否確認について	◇日程:8/28(日) サイレンで開始。今年の安否確認は自宅に担当者が行きます。来月の会報に詳細を載せます。 ◇2～3日前に会員宅に事前連絡をします。(藤原)
勉強会について	◇長野県の北信に見学勉強会に1泊2日で行きたいとの提案がありました。 ◇11月頃の土日の予定。 ◇高齢の障害者が介護保険を使わずに生活をしているところです。(相原)
50周年記念行事について	◇イベントの日程…来年平成29年11/25(土)か26(日)を予定。 ◇記念誌とDVDを作ります。委員会を発足します。 ◇7/23(土)10:00～12:00幹事会を行い、詳細を決定します。場所は後日連絡。(相原)
その他	◇児童デイサービスが重度の子供にも使いやすくなるよう要望書を提出したい。(相原)

広報推進委員会 黒川

神奈川県立津久井やまゆり園での事件について（声明文）

平成28年7月26日未明、障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」（相模原市緑区、指定管理者・社会福祉法人かながわ共同会）において、施設入所支援を利用する知的障害のある方々が襲われ、19人が命を奪われ、20人が負傷するという未曾有の事件が発生しました。被害に遭われ亡くなられた方々に、衷心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にはお悔やみ申し上げます。また、怪我をされ治療に当たられている方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

抵抗できない障害のある人に次々と襲いかかり死傷させる残忍な行為に私たちは驚愕し、被害にあわれた方々やそのご家族の無念を思い、悲しみと悔しさにただただ心を震わせるばかりです。職員体制の薄い時間帯を突き、抵抗できない知的障害のある人を狙った計画的かつ凶悪残忍な犯行であり、到底許すことはできません。

事件は、当会会員・関係者のみならず、多くの障害のある方やご家族、福祉関係者を不安に陥れ、深く大きな傷を負わせました。このような事件が二度と起きないよう、事件の背景を徹底的に究明することが必要です。

今後、事件対応に関わる皆様には、まずは被害者及び被害者の遺族・家族、同施設に入所されている方々のケアを十分に行ってくださいようお願いいたします。その上で、事件の背景・原因・内容を徹底して調査し、早期に対応することと中長期に対応することを分けて迅速に行いつつ、深く議論をして今後の教訓にしてください。加えて、本事件を風化させないように今後の対応や議論の経過を情報として開示してください。

また、事件で傷ついた被害者やご遺族が少しでも穏やかに過ごせるよう、特に報道関係機関には特段の配慮をお願いします。

事件の容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定するような供述をしていると伝えられています。しかし、私たちの子どもは、どのような障害があっても一人ひとりの命を大切に、懸命に生きています。そして私たち家族は、その一つひとつの歩みを支え、見守っています。事件で無残にも奪われた一つひとつの命は、そうしたかけがえない存在でした。犯行に及んだ者は、自らの行為に正面から向きあい、犯した罪の重大さを認識しなければなりません。

また、国民の皆様には、今回の事件を機に、障害のある人一人ひとりの命の重さに思いを馳せてほしいのです。そして、障害の有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向けて共に歩んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。

平成28年7月26日

全国手をつなぐ育成会連合会
会長 久保 厚子

第3回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会神奈川大会の報告

「誕生した大切な命だから 一人ひとり充実した一生を！」

7/2(土)・7/3(日)両日、各第1分科会・合同全体会に参加しました。全日本手をつなぐ育成会は連合会となり早や2年が経ちました。何か変化を感じ取りたい”という思い、横浜の神奈川大会ということもあって2日間行ってきました。「参加して良かった」、「確実に新しい風が吹いている」実感できた有意義な大会でした。

久保厚子連合会会長は挨拶の中で、障害者総合支援法の見直しで「高齢障害者」の視点が初めて公の場で議論されていることを伝え、安心への大きな一歩を踏み出したとしテーマの「命」とした今大会を、原点に戻り大切な視点の大会と言及しました。

大会実行委員長の依田雍子神奈川県手をつなぐ育成会会長は、初日の第1分科会で話題にもなった「意思決定支援」「合理的配慮」の言葉を述べ、なぜそれが必要かという背景を十分に理解することで、より具体的で実効性のある支援につながる。そのことによって必然的に支援の質も向上し、テーマの充実した一生”も当たり前になると結びました。

力強いものを感じた両者の挨拶でした。

「中央状勢報告」は、連合会統括の田中正博氏が行いました。このような活動区分の体制で、各地域の県手をつなぐ育成会がまとめ役を担い主体性をもって実施するとのことでした。

- ①事務サポートセンター(滋賀県)、②権利擁護センター(兵庫県)、③政策センター(静岡県)、
- ④国際委員会(東京都知的障害者育成会)、⑤本人活動支援委員会事業計画(大阪)、
- ⑥事業所協議会事業計画(岩手県)

今回の記念講演は「よろこびを力に…」と題して、元マラソン選手の有森 裕子 氏でした。県民ホールの2,000人の熱い視線を受け、登場しました。あのバルセロナオリンピック、アトランタオリンピックの女子マラソンで銀メダル、銅メダルに輝いた人です。

お母さんのこと、恩師とのエピソードを熱く語りました。

「障害者だから何もできないと決めつけ、チャレンジする機会を与えていない。このことが問題なのです」「スポーツを通してこの機会”を数多く提供することが私の役目です」あつという間の1時間の講演でした。

久保厚子会長が入口の一番近いところに列し、参加者へご苦労様でしたと声かけしていました。ほっとした思いで気持ちも和み帰宅となりました。

記 中田

第3回全日本手をつなぐ育成会連合会全国大会

第1分科会「大切な命を授かって生まれる～家族支援と本人支援のバランスを考える～

7月2日、メルパルク横浜において、13:00～16:00分科会が行われ、秦野からは中田副会長はじめ6名で参加いたしました。会場全体で300名程度の参加でした。基調講演は明星大学教授の吉川かおり氏が行い、家族として障害のある我が子を受容し、親としても成長を遂げていくプロセスを説かれたように思います。たとえとしてコップに入った半分の水をどう見るか。半分しかないとみるか、半分もあるとみて可能性を信じるかで我が子に対する見方が変わってくるということを学びました。

○さいたま市手をつなぐ育成会代表理事の官部幸子氏は30代の障害を持つお嬢さんをお持ちですが、自営業のメリットもあり、家族全体で協力して支えてきたこと。きょうだいにも生活する上で違いを教えることで、受け入れる姿勢が育ってきたという報告でした。

○厚生労働省障害福祉専門官の田中真衣子氏は2才の娘さんの母親でもあり障害児支援について、行政の立場から説明されました。1、ライフステージに応じた切れ目のない支援（縦の連携）。2、保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制の確立（横の連携）という総合的な視点からのサービスが呈示されました。中でも家族支援の手法としてペアレントトレーニングとペアレントプログラムが紹介されました。これは発達障害児の子育て経験のある親が中心になってプログラムで、行政としても細やかな手法を考えていることがうかがわれました。

○NPO法人ノーマライゼーションサポートセンターこころりんく東川副理事長の安井愛美さんからは支援者の立場からエンパワーメント（empowerment）一力を与えること、力を付けることを、家族や支援者に行うことの大切さを説かれました。安井さんは若いとき知的障害者入所施設支援員をされ、その後レスパイトサービスを作られた。その事業を通じて得た反省を踏まえて現在の事業を行っている。そこではチームを支援することの大事さを理解し取り組んでいる。結論としては家族支援と本人支援のバランスを考える→みんなでがんばる、一人でがんばらない。ということである。そうすることによって三者がハッピーになれるといわれました。

この分科会に出席し、本人を支援するには家族をはじめ、支援員等の社会資源とのチームワークが大事であることを学びました。

大根鶴巻支部 板倉

第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会神奈川大会

記念講演『よろこびを力に…』 元マラソン選手 有森裕子氏

○プロフィール

バルセロナオリンピック、アトランタオリンピック両大会の女子マラソンのメダリスト。「一生懸命は必ず勝ちます」と希望を持って頑張っていくことを小学生・中学生をはじめとする子供たちに訴え続けている。

地雷で被害を受けたカンボジアの子供たちに「義手や義足をつけ走ることで夢を持つきっかけになれば」とふれあい支援の為のNPOを設立。

有森裕子氏の信条は「世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること」「二度とやっこない一瞬一瞬を精一杯生きること」

○岡山県に生まれ、幼少期の頃、母親に連れられて色々な所へ行き、色々な人と触れ合う機会があった。又、自宅の近くに障害者施設があり交流、ふれあうチャンスもあった。その後、高校、大学を卒業してリクルートに入社。バルセロナ、アトランタオリンピックでは銀・銅メダルを獲得され引退。NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」を設立。障害者がオリンピックに参加することが出来なかった事に疑問をもち、それから障害者がオリンピックに出られるように働きかけ、スペシャルオリンピックスの日本理事長や国際陸連女性委員、その他色々な要職を歴任された。

「健常者は物事を自分で考え、体験、経験できるが障害のある人は場づくり、環境、機会(チャンス)をつくってあげなければ出来ない。障害あるなし関係なく…してあげる…してもらうではなく支え合う応援し合うことで人間感情が豊かになる」ことを力強く話されていた。(7月3日参加)

記 北島、北村、山本



《写真は前日の第1分科会》

防災勉強会実施報告

防災勉強会（災害発生時対応の模擬体験ゲーム）

日時：7月7日（木） 10:00～12:00

場所：保健福祉センター第4会議室

参加者：24名（会員）

講師：秦野市防災アドバイザー山田様他2名

想定：育成会の集会開催時に大地震が発生

従来の講演会（講師の知見や経験をお話頂き防災、減災へ参考とした）とは違い、震災の状況を設定して、このような場合はどう行動するのかを、皆で考え結論を出すという新しいスタイルでした。

各チームを6～7人のグループグループに分け、時系列で想定された設問に対し、どのように行動するか、この場面で私たちが出来る事は何か？など各問題に取り組む時間は約5分で10問について論議しました。

出された問題の一例をあげますと

その1：避難の途中で階段の前に、足の不自由な高齢者と乳児と幼児を連れた親子に出会い「手を貸してくれ・・・」と言われました。

→どのように避難の手助けをしますか？

その2：会員から「車中泊を繰り返していた家族の母親がエコノミクス症候群の症状で搬送された・・・残された会員本人はどうすれば・・・」と相談してきました。

→適切な答えを伝えて下さい。

等々その場で瞬時に判断して答えを導き出し行動に移す、と言う少々ハードな勉強会でしたが、現実に起こりうる事でありとても良い勉強会であったと思います。

災害対策委員会 藤原



《会場内の様子 皆さん真剣です！》

《ま木だより》

8月11日は山の日です。秦野市では「お帰りなさい、秦野へ～丹沢は私たちの宝物～」をテーマとして、飲食店では山にちなんだ特別メニューや山盛りイベントを行います。

ま木では、8月10日(水)『山盛りカレー』を数量限定で提供いたします。山の形に盛り付けたスペシャルメニューです。お腹いっぱいになること間違いなし。ぜひご来店ください。



そうめん等の販売のお礼

民児協様、賛助会員様、会員の皆様には、そうめん等のご購入をお願いいたしましたところ、多量のお買い上げいただきまして、感謝申し上げます。

販売総数は343個でした。販売手数料につきましては、本会の運営に有効活用させていただきます。ありがとうございました。

事務局 清水

『委員会報告』



<広報推進委員会>

☆6月30日(木):7月号の会報の製本作業 終了後、
委員会を開き施設見学先について話しあいました。 (近藤)

★次回の印刷は9月1日(木)です。
お手伝い頂ける方は10時半頃、第2会議室にお集まりください。
(いつもと場所が違います。お間違いの無いように！)

<地域生活支援委員会>

『第2回 高齢化実態調査部会』

★6月30日(木);保健福祉センター 第一会議室 10:00~12:00 (参加者10名)
初回と同じく、メンバー全員参加。今回は通所用アンケートの見直しです。やはり今回も非常に活発な意見が出てメンバーの真剣な取り組みがヒシヒシと伝わってきます。
【入所は利用者の高齢化が最も懸念されていますが、通所は本人の高齢化はもとより本人を介護する介護者の高齢化。それに伴う環境の変化と通所ならではの課題がありアンケートを3種類にした原因の一つです。】

☆次回(第3回)は7月27日(水)の予定です。

『委員会』

★7月12日(火);保健福祉センター第2会議室 10:00~12:00 (参加者12名)
*テーマ・委員企画事業(ヤングマンクラブ、結の会、勉強会 etc.)の担当者の説明。
(書類配布)
・実態調査部会の進捗状況の説明。

『ヤングマンクラブ』

★7月23日(土);9月会報にて報告いたします。 (秋元)

【ヤングマンクラブ 今後の予定】

☆8月はお休みです。
☆9月24日(土) 13:30~15:00
【場所;保健福祉センター多目的ホール】
【持ち物;タオル・うわばき・飲み物】



<災害対策委員会>

H28 年度防災訓練 安否確認実施について

目的： 災害発生時に備え、防災訓練の一環として会員家族の安否確認を行う。
今年度の取り組みは昨年に引き続いて、全会員宅訪問を実施する。

実施日時： H 2 8 年 8 月 2 8 日 (日)

*市の防災訓練開始のサイレン(9時)で行動を開始する。

事前連絡： 支部長より訓練実施の事前連絡が8月25日に入ります。

各家庭は無事であるとの表示として玄関先その他郵便受け等の、外から見える所にタオル等(色は自由、自治会配布の掲示物も含む)を掲げておく。

* 訪問の記録をポストに入れておきますので確認ください。

災害対策委員会の実施。

日時： 6月19日 9:00~11:00

場所： 保健福祉センター第一会議室

議題： 防災勉強会の振り返り、その他。

1、防災勉強会(災害発生時対応の模擬体験ゲーム)

7月7日(木) 10:00~12:00

参加者： 24名(育成会会員) 撮影(相原さん)

・実施後の所感

1) 従来の講演会(講師の知見や経験をお話頂き防災、減災へ参考とした)とは違い、震災の状況を設定して、このような場合はどう行動するのかを、皆で考え結論を出すという新しいスタイルであった。

2) 其々の地域での環境に差があるので、各支部毎に実施してはどうか?



<幼児児童委員会>

《音楽とリズム教室》

★7月はお休みです。次回は8月7日(日)10時半~多目的ホールです!

(近藤)

《委員会》

★7月12日(火);委員会を行いました。(7名参加)

①サマースクール(7月28日実施)について ②今後の計画についてなど

(野間)

【今後の予定・茶話会】

☆9月29日(木) 『ときの家』にて茶話会を行います。

時間は10:00から。会員以外の方の参加もできます。



<こうぼう山の会支援委員会>

活動報告

- ☆ 6月26日(日)、9:30~10:30、さかえちよう公園でおそうじボランティアをしました(参加者:本人8、支援者7、保護者 2)。
この日は支部行事などで参加者も少なかったのですが、暑い中、草取りやしだれ桜の剪定など公園美化に励みました。ご協力ありがとうございました。
その後、公園内で休憩しながらサマーキャンプについて話し合いました。その結果、食事のメニューやゲームの内容が決まりました。
- ☆ 7月2日(土)、横浜で手をつなぐ育成会全国大会が2日間にわたって開かれましたが、一日目の本人分科会に秦野からも参加しました(本人3、ガイドヘルパー3、支援者1)。
こうぼう山の会から栗原さん、福島さん、中林さんの3人が参加したのはCコース。生き方トーク~自分のことは自分で決めたい~というコースでしたが、13:00~16:00まで、活発に意見交換がされました。
大勢の人の前で自分の意見を言うのは難しいことですが、他県からやって来られた方たちの臆せずに意見を言う姿に支援者も含めていい刺激を受けました。
これからの会活動に活かしていきたいと思います。



『育成会全国大会』
本人分科会の様子です。
全国から集まった皆さんです。



会場となった
『県民ホール』前で記念撮影。
当日は、全体で2000人の参加
があったそうです。



- ☆ 7月4日(月)、10:00~12:00、保健福祉センターで定例の支援委員会を開きました(参加者8名)。
この日は、主に7月31日(日)に予定されているサマーキャンプについて話し合いました。
皆さんの要望を取り入れて、楽しい一日になるよう皆で知恵を絞りました。
- ☆ 7月16日(土)、9:30~11:30、保健センター多目的ホールでこうぼう山の会の歌の練習がありました(参加者:本人7、指導者2、支援者8)。
参加者は少なかったのですが、新曲「フニクリフニクラ」の練習に入りました。簡単なようでいて、なかなか難しい曲です。
回数を重ねて練習するしかありませんので、次の練習日にはできるだけご参加ください。
(福島)

こうぼう山の会のお知らせです

こうぼう山の会よりお知らせ

- 1、8月13日(土)、9:30~11:30、^{ふくし}福^{たくてき}止センター多^た目^め白^{はく}夕^{せき}ホールで^{うた}歌^かの^{れんしゆ}練^{あつ}習^じが^あり^ます。^{あつ}暑^じい^じ時^き季^きで^すか、^{しん}新^{きん}曲^{きよく}の^{れんしゆ}練^{あつ}習^じに^いっ^て、^いま^すの^で、^かん^ぱら^て参^ま加^かし^て下^{くだ}さ^い。
- 2、9月10日(土)の^{うた}歌^かの^{れんしゆ}練^{あつ}習^じは^いっ^{せい}会^{かい}バ^はス^こ旅^{りょ}行^{こう}の^ため^に中^{ちゆう}止^しし^ます。^おま^ちが^えの^ない^よう^に。
- 3、お^{たの}楽^がし^み、^たう^ぼう^の山^の会^のバ^はス^こ旅^{りょ}行^{こう}の^ひが^き決^まり^まし^た、¹⁰月³⁰日^(日)で^す、^くわ^いし^いこ^とは^ちら^しを^みて^下さ^い。



こうぼう山の会 露木芳弘氏 作成

どんなに空が晴れていても
今年の夏の心は晴れない...

理不尽な事件に 心は打ちのめされている。
それでも一日一日を大切に
前を向いて
強く生きていこうと願う。

T. N

《支部だより》

〈東支部〉

- 7月13日(水) 施設見学実施 場所…社会福祉法人 花(生活介護 でい工房花はな)
(共同生活援助 ホーム花) 5名参加
- 7月15日(金) 東地区社会福祉協議会理事会 東公民館にて 19:00～ 1名出席
{東地区福祉ふれあい祭り実施予定は 9月18日(日) 9:00 受付～14:30}
- ◎次回の定例会は8月10日(水) 12:00～14:00 東公民館にておこなう予定です
皆様の参加をお待ちしております

〈西支部〉

- 6月29日(水) 西社協障害者支援部会 13:00～ 堀川公民館 1名
- 7月9日(土) そうめん流し 11:00～ 上公民館 親子32名参加
- *今年も西民生委員さんのご好意で、そうめん流しと午後からは音楽と言うことで、一日楽しい日を過ごさせていただきました。
- 当日はあいにくの雨の中準備等大変だったことと思います。有り難うございました。
(詳細は理事会で報告させていただきます。)
- バスレク・ぶどう狩り参加呼びかけ ○ 防災訓練について
- ◎今月の定例会は7月21日(木)に行いますので、次回報告させていただきます。

〈南支部〉

- 7月4日(月) 南地区社協ふれあいまつり実行委員会 南公民館 19:00～ 2名
- ふれあいまつりの開催…10月30日(日) ○ 敬老の日について 資料で確認しました。
- ◎8月13日(土) 10:00～ 支部会を予定しています。場所は後日連絡します。

〈北支部〉

- 6月20日(月) 行事打ち合わせ ジョリーパスタ 2名
- 6月26日(日) 民生委員さんとの交流料理教室 北公民館
会員とその家族13名 民生委員さん8名
- *今年のメニューは、冷やしうどんと手作りパフェでした。みんなで楽しく調理して、本人さん達はパフェをお代わりしていました。民生委員さんも楽しんでいただけたようでした。
- お疲れ様でした。
- 7月1日(金) そうめん等の配布 2名
- ◎次回の定例会は7月21日(木) 保健福祉センター第1会議室です。
- ◎8月は、定例会はお休みです。
- 9月4日(日) 夕方から『どんぐり山荘』で支部の夏レクを行います。お楽しみに!



〈本町支部〉

6月19日(日)本町地区社会福祉協議会主催『フライングディスク大会』

保健福祉センター 10:00～ 10名

*障害者スポーツ協会の方々に指導していただき、身体障害者協会、民児協の皆様とフライングディスクを楽しみました。昼食も一緒にいただき、交流を深めました。

皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

6月25日(土)支部日帰りバス旅行 山梨方面

*参加者は本人10名、家族10名、ふれんどのボランティアさん1名の合計21名でした。

チェリー観光農場でさくらんぼ狩りを楽しみ、石和温泉のホテル慶山でランチ・日帰り入浴の後、桔梗屋・信玄餅工場を見学して帰ってきました。

ふれんどのボランティアさんには、大変お世話になりました。ありがとうございました。

7月8日(金)定例会 イオン・フードコート 13:00～ 4名

○ 支部旅行の反省 ○ 支部料理教室について

7月10日(日)『ボーリング大会』 西武ボール 9:30～ 14名

*一人2ゲームずつボーリングを行いました。皆さんとても楽しそうでした。

本町民児協の皆様、いろいろなご準備などありがとうございました。

◎8月の定例会は8月19日(金) 13:00～ イオン・フードコートで行います。

皆様のご参加をよろしく願っています。

〈大根鶴巻支部〉

6月25日(土)防災フォーラム事前ワークショップ

*大根自治連と東海大学の共催により、昨年に続き10月1日に『第2回防災フォーラム』が東海大学にて開催されることになりました。その事前の市民による意見交換会が、広畑小学校青空教室にて13:30～15:30に行われ、当支部から2名が参加しました。東海大学の山村武彦様のお話があり、地震が起こった時に考えられる、困ったことまたできることを紙に書き出し、それを結びつけて解決方法を話し合うというワークショップを行い、最後にはグループごとに発表を行いました。東海大学の学生さんも入り、グループとして盛り上がりました。他のグループでは秦野高校の生徒さん、教員の方も参加されていました。『防災フォーラム』に向けて良いスタートになったと思います。

6月28日(火)そうめん仕分け、参加者1名

6月29日(水)そうめん配達 大根社協、広畑社協 参加者1名

7月7日(木)そうめん配達 鶴巻社協 参加者1名

7月14日(木)定例会 大根公民館にて 10:00～12:00 参加者8名

○ 理事会報告 ○ そうめん販売についての報告他。

◎8月の例会は8月10日(水)10時から12時です。

◎9月の例会は9月8日(木)10時から12時です。 会場は大根公民館の予定です。

【編集後記】

母は若き日々丹沢の山々に登っていましたが、1番思い出に残っている昼食はコッヘルで炒めた焼きそばです。ソースが焦げた香ばしいかおりがしてくると周りから大注目。容器を洗うことができないので再びメニューにのぼる事はありませんでしたが、とってもおいしかった思い出の味です。

息子を連れてまた登りに行きたいなあ。(T.K)